大豆：葉焼病(Bacterial pustule)

Xanthomonas campestris pv. *glycines*

写真　葉焼病の被害葉

発生生態

細菌性の病害で、高温期に、主に葉に発生します。病斑は、大きさ1～2mm、色は褐色～黒褐色で、そのまわりに淡黄色のハロー(暈：かさ)が生じます。病原菌は風や雨で運ばれて葉の傷口等から侵入し、数日間潜伏したのちに発病します。発病が激しい時は葉が枯死して落葉します。

防除対策

発生初期に葉焼病に登録のある殺菌剤を散布します。その他に耕種的防除として、健全種子および本病に罹りにくい品種の選択、被害残さの除去、発病ほ場での連作の回避等が上げられます。

農林センター環境部 0771－22－6494